

河川情報システム基本計画検討業務（流総） 特記仕様書

第 1 条 業務目的

平成 12 年度より運用している「福島県河川流域総合情報システム」（以下、現行システム）において、近年頻発する豪雨災害等により河川情報に対する地域住民の関心の高まりから、配信する河川情報の拡充など、最適な情報配信の在り方が課題となっていることを踏まえ、適時適切な河川情報を配信するため、現行システムについて評価を行うとともに、分かりやすい情報配信の在り方や水防業務の効率化等を検討し河川情報システム（以下、次期システム）の基本計画案を立案することを目的とする。

第 2 条 仕様等

本業務の履行にあたっては、本特記仕様書に従うほか、福島県土木部「共通仕様書（業務委託編）」によるものとする。

第 3 条 業務内容

1 計画準備

本業務に関する契約図書、指示事項及び貸与資料を把握し、業務実施にあたっての技術的指針及び作業工程を検討したうえで業務計画を立案・作成し、業務遂行に必要な準備等を行う。

2 資料収集・検証等

(1) 現行システムの現状把握及び検証

現行システムのサーバの環境や通信回線の現状について、過年度の成果品や現地調査などにより情報収集を行う。また、現行システムを利用する県土木部機関（8 建設事務所、11 土木事務所等の約 60 名）へヒアリングを行い、現行システムの意見聴取を行う。さらに、現状の WEB コンテンツ構成の確認を行い、現行システムについて評価（操作性、利便性、汎用性、経済性、運用保守性を含む）を行う。

(2) 先進事例の収集及び整理

河川情報をパソコンやスマートフォン等に対して情報配信している他自治体等の先進事例を収集し、その構築方法や配信内容の特徴や機能について整理する。

3 河川情報の配信内容等の検討

前項までの検証結果を踏まえ、パソコン及びスマートフォン等に向けた情報配信において、求められる河川情報や機能等、最適な配信内容及び方法を検討する。また、AI 技術を活用した情報配信の効率化や異常値の検知等の機能について検討を行う。

4 表示コンテンツの検討

前項までの検討結果を踏まえ、WEB表示画面の構成やレイアウトを検討する。検討にあたっては、画面案のプロトタイプ版を3案作製する。

5 次期システム開発仕様書案の作成

前項までの検討結果を踏まえ、パソコン及びスマートフォン等に向けたシステム開発仕様書案を作成する。

開発仕様書案には、以下の項目を整理する。また、すべての利用者の操作性や利便性を考慮の上、品質や性能等の要件についても整理を行い記載する。なお、開発仕様書案の作成にあたっては、特定のメーカーに依存しない、汎用性の高い仕様とする。

- ・ システム構成
- ・ 利用者向け機能
- ・ 管理者向け機能
- ・ 画面フロー
- ・ サーバ機器などの要件
- ・ 現行システムとの通信仕様
- ・ 運用保守に係る仕様（ソフトウェアのアップデート時の対応等）
- ・ 運用開始までの工程表
- ・ その他、システム開発に必要となる仕様

6 概算費用及び工程の算定

パソコン及びスマートフォン等向けの次期システムの開発に要する概算費用を算定する。また、次期システムの運用開始までの工程案を作成する。

7 報告書の作成

本業務で実施した検討結果や作成した資料等を取りまとめ報告書を作成する。なお、報告書の巻頭には、本業務の概要をまとめた「概要版」を作成する。

8 打合せ協議

本業務における打合せ協議は、業務着手時1回、中間時2回、業務完了時1回の計4回を予定する。なお、業務着手時及び成果品納入時には管理技術者も立ち会うものとする。

9 成果品

本業務の成果品は以下のとおりとする。

- ・ 報告書（紙成果品） 1 部
- ・ 電子媒体（電子成果品） 2 部（正・副）

10 貸与資料

本業務の遂行にあたって、必要となる資料は適宜貸与する。

